

令和 3 年度

森林環境譲与税の使途内訳（令和 4 年 3 月 31 日）について、次のとおり公表します。

（単位：円）

事業名	事業費総額		事業内容	導入効果（総括）
	うち当該年度の森林環境譲与税（基金取崩含む）	その他の財源		
木のぬくもり推進事業費補助事業	2,500,000	2,500,000	0	<p>私立の幼保連携型認定こども園（予定施設を含む）を対象に、子どもが日常的に利用する場所の床や壁などの内装や、子どもや保護者等が利用する机や椅子等の備品等について、おおさか材等の国産材を使用した施設の木造化、木質化または木製品の導入に要する工事請負費や設計委託料、備品購入費等に対する事業費の一部を補助する。</p> <p>施設自体の雰囲気と相まって、木材の良さを体感でき、森林の大切さや木材に対する理解を深めることにつながられた。</p>
木製足踏式手指消毒スタンド製作事業	341,000	341,000	0	<p>国産材（桧材）を使用して、足踏みスタンドを新規で製作する。</p> <p>足踏式スタンドは、消毒液ポンプに触れることなく両手で受け止めることができるため、清潔かつウイルス等の感染予防対策に効果的であった。</p>
桃の木台中央公園内ベンチ改修事業	880,000	880,000	0	<p>桃の木台中央公園は平成7年に開設し、当時屋外ベンチを約40基設置している。設置から25年以上が経過し、ベンチの老朽化が著しいため、国産材を使用して、既存のベンチを計画的に改修する。</p> <p>桃の木台中央公園は、都市計画公園や広域避難所として位置付けられていることから、公共性が非常に高いものであり、老朽化したベンチを改修することで公園や避難所の機能向上が図られるものである。また、地域住民や家族が憩い・集い・語らいなど、コミュニティの場や自然とふれあえる場として、安全で快適に利用できる空間の確保ができた。</p>

事業名	事業費総額			事業内容	導入効果（総括）
		うち当該年度の森林環境譲与税（基金取崩含む）	その他の財源		
国産材でつくる本のある居場所事業	1,381,380	1,381,000	380	サラダホールエントランス等に、居場所となるテーブル、椅子、本棚の設置を行い、本と人、人と人がつながる場を作る。	机は、設置直後から、ちょっとした打ち合わせや休憩等によく利用されている。本棚は、令和4年3月から、市民ボランティアによる本を通して人がつながる場「まちライブラリー@サラダホール」の活動が始まった。本が並んだことで、くつろぎスペースとして、さらによく利用されている。
森林インストラクターによる講座委託事業	323,400	323,000	400	市内在住の森林インストラクターによる、郷土の山を知る講座と、フィールドワークを開催する事業を委託する。	新型コロナウイルスの流行真ただ中での募集となったが、当初予定していた定員があっという間にいっぱいになり、可能な限り定員枠を広げてもらった。3回目に実施したフィールドワークは、俣石山にてインストラクターの説明を聞き、実際の木や植物を観察し、参加者の満足度が高かった。
尾崎公民館木質化事業	503,800	503,000	800	尾崎公民館の木質化・木製品の導入を図る。	公民館利用者が「自然素材の温かみ、ぬくもり」を感じ、心地よく、親しみやすく、利用しやすい環境整備を図ることができた。
阪南市森林環境譲与税基金積立残高	9,680,454	9,680,000	454	令和4年度以降の森林整備等に向けた基金積立残高	森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進（以下「森林整備等」という。）に関する費用に充当することとされているため、阪南市森林環境譲与税基金条例を制定し、基金積立を行ったところであり、令和4年度以降における計画的かつ効果的な森林整備等を進める。
合計	15,610,034	15,608,000	2,034		